行政評価シート(事後評価)

コード (86) 8-2-1	事務事業名 公園ボランティア事業	所管部課 生活環境部みどり公園課(旧都市整備部公園緑地課)
-------------------	---------------------	----------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	西東京市が管理する市立公園その他緑地帯の管理運営に自主的に参加する市民及び団体の活動を促進し、市民意識の向上・管理コストの削減を図り、公園等を安全かつ快適に利用できる場とすること。	☐ 法律 ☐ 条例・規則 ☐ 政令・省令 ☒ 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	ごみ拾い、落ち葉かき等清掃に関すること。 除草、樹木のせん定その他樹木の維持管理に関すること。 草花の植付けに関すること。 遊具、その他の公園施設の破損等を発見した際の市への連絡に関すること。 ~ の内容の中で協力いただけることを登録書に記入し、市に提出後、活動していただく。 適正な管理運営を促進するため、市と登録会員との情報交換の会議を年1回行っている。また、協力会員に対しゴミ袋・ホウキ・熊手等の用具を支給している。	
事業開始時期	「合併前から」年度	実施形態
		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 補助 ☒ その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		1,348	1,703	578	1,062
財源					
国庫支出金・都支出金					
地方債	千円				
内 其他 ()					
一般財源		1,348	1,703	578	1,062
所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	833	819	816	816
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,181	2,522	1,394	1,878
単位当たりコスト					
(E)=(D) / (ボランティアが活動している公園)	千円	29.1	33.2	18.3	#DIV/0!

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
ボランティアを管理している公園数	実績値 箇所	75	76	76	
会員との会議の開催数	実績値 回	1	1	1	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 自主的な市民参加により市民意識の向上・管理コストの削減を図り安全かつ快適な公園の場にする。					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一次 会員数	実績値 人	592	758	747	
二次 ボランティアの入っている公園の割合	実績値 %			39	
二次 市民意識と全体の管理コスト	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 全体公園数196箇所に対し、ボランティアが活動している公園数が76箇所になるため、39%になる。					

市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	公園等管理協力会員の会議において、(犬のフンの始末・放し飼い・リードを長くし他人に迷惑をかける)愛犬家のマナー問題が上げられている。	
都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	☒ 上 ☐ 中 ☐ 下	近隣市5市の状況から比較するとボランティアが活動している公園が76箇所と西東京市が一番多くの公園にご協力をいただいている。
代替・類似サービスの有無	☐ 有 ☒ 無	

コード (86) 8-2-1	事務事業名 公園ボランティア事業	所管部課 生活環境部みどり公園課(旧都市整備部公園緑地課)
-------------------	---------------------	----------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		☐ 拡充 ☒ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>平成18年度は、新しく下野谷遺跡公園を整備し、平成19年4月15日に開園式を行った。</p> <p>公園の概要 所在地 東伏見六丁目4番地 公園面積 3,172㎡ 内容 縄文時代の復元住居など</p> <p>開園に先立ち広報等で公園ボランティアを募集したところ5名の方が会員登録していただき、ごみ拾いや除草などのご協力をさせていただくことになった。</p> <p>少しずつではあるが、ボランティア会員の増加の傾向が見られる。ただし、ボランティア会員の高齢化も少しずつではあるが進展しているので、継続していくためには若い人を取り入れていく取り組みが必要である。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		☐ 拡充 ☒ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>公園ボランティア事業は、自主的な市民参加意識の向上や公園の管理コストの削減などに効果のある事業である。</p> <p>全公園196箇所に対してボランティアが活動している公園が76箇所(39%)であることを考えると、さらなるボランティア団体の組織化の促進が必要と考える。</p> <p>なお、西東京いこいの森公園や西原自然公園のボランティア団体から小規模公園の団体まで幅広い活動団体があり、今後は、これらボランティア団体全体の育成が必要と思われる。</p> <p>また、ボランティア会員の高齢化が進んでいることから、事業の継続性を保つためにも若年層が参加できる仕組みの構築が必要である。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
☐ 拡充 ☒ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>本事業については、全公園へのボランティア活動実施を目標に、効果的なPRや会員等の口コミによる活動員の増加を図りたい。</p> <p>また、若年層が参加できるよう、近隣大学への働きかけなども含めて新たな仕組みを検討し、事業範囲の拡大に努められたい。</p>